

今年の秋はだんじりと祭り囃子が戻ってくる！ 10月9日(日)秋祭り開催！

残暑厳しい日々が続きますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
世界中に感染者を増大させた新型コロナウイルス感染症の影響により、2年間開催が中止となった山口町の秋祭りが、今年ようやく開催することが決まりました。まだまだ感染症拡大の危険性は残りますが、最大限の感染症拡大防止に努め、安心・安全なお祭りが開催できることを願うばかりです。

今年は宵宮運行当日に、西宮山口アルキナーレと孝徳帝行幸が同時開催となり、一味違った宵宮となります。また、恒例となった公智神社からの帰路運行で、子供や女性の方による大だんじりのロープ引きをはじめ、下山口では女児もだんじりに乗ることができるようになりました。

子供や女性も参加できる地域のお祭りとして、皆様とともに盛り上げていこうと思います。何卒、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
宮本だんじり会会長 下野邦彦

清々しい秋の気配が感じられる季節になりましたが、会員の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、自治会活動に対し、ご支援、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、公智神社秋の大祭まで、あと数日となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年間だんじり運行を自粛して参りましたが、現在、山口自治会連合会にて、だんじり運行を再開する方向で、新型コロナウイルス感染症対策も含め種々検討しております。なお、予てからだんじりに女の子を乗せる要望がありましたが、昨年自治会連合会にて承認され、今年より実施することとなっております。

また、山口地域のPRを目的に、宵宮に「西宮山口アルキナーレ2022」を開催することとし、地域内外の方々に公智神社の秋祭りを初めとする山口地域の伝統行事などを広く知って頂くことにより、山口地域の活性化も図れるのではないかと考えています。

結びに、今後とも山口地域の伝統行事が、事故もなく安全で楽しく盛大に執り行ますよう、心よりお祈り申し上げます。
下山口自治会会長 角谷兵司

宵宮は下山口がざわついている

3年ぶりに開催される公智神社の秋祭りに先立ち、10月8日(土)の宵宮は、西宮山口アルキナーレ2022と同時開催されることとなりました。
西宮山口アルキナーレ2022の詳細につきましては、右の2次元コードを読み取っていただきますとご覧いただけます。(西宮山口ホームページより)



アルキナーレ2022

宵宮が西宮山口アルキナーレ2022・孝徳帝行幸と同時開催

10月8日(土)に開催する今年の宵宮は、西宮山口アルキナーレ2022と孝徳帝行幸がタイアップし、山口センターから公智神社までの道のりを運行します。15時15分頃に下山口の大だんじり・上山口・名来の3基と孝徳帝一行が山口センターに集合し、写真撮影ののち、神社へ向け移動します。途中、御旅所で休憩し、公智神社へ宮入をします。境内では獅子舞や和太鼓演奏など秋祭りらしい盛沢山のセレモニーが催され、下山口大だんじりの宮出しは宵宮・本宮ともにロープを準備しますので、子供や女性の方も振るってご参加下さい。

10月8日(土)宵宮

スケジュール

15:15 山口センター集合
15:30 山口センター出発
(御旅所 休憩)
16:20 公智神社宮入
17:00 宮出し

10月9日(日)本宮

「ちょっと小耳」孝徳天皇と山口町「御旅所」

山口町と孝徳天皇のかかわりが記されている日本書記によれば、西暦647年の秋、第36代天皇に即位された孝徳天皇(当時51歳)が政治改革の視察として約3ヶ月間有間温泉(現在の有馬温泉)に行幸された際、当時の公智神社が祀られていた天上山(現在の天上公園付近)の良質な材木を使い、行在所を造営した跡地が現在の「御旅所」ではないかと伝えられています。孝徳帝行幸は、約1375年振りの復元です。



大革命！女の子もだんじりに乗れる

昨年の秋祭り(中止となりました)が開催されていれば、実現していたであろう女児(小学校低学年程度まで)のだんじり搭乗が、今年実現します。

賛否がある中、自治会員によるアンケート調査の結果、女児のだんじり搭乗に賛成する意見が反対意見を圧倒的に上回り、自治会役員会で可決承認されました。山口地区内では、まだ搭乗させない地区もありますが、下山口においては大きな革命となります。秋祭りは男子のお祭りという風習を払拭することにより、老若男女を問わない地域のお祭りとして、地域活性化に繋がれば良いと願います。



【編集後記】

久しぶりの作成となり、令和元年の写真を見ているとわくわくしてきました。withコロナの秋祭りですが、皆様とともに盛り上げ、安全な祭りになることを願っています。



下山口地区の檀尻紹介